



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成29年 月 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ カメヤマジョウセキホゾンカイ
団体名 亀山城跡保存会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ○ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	浮田ふるさと再発見事業
事業実施小学校区・地区	浮田学区 (亀山城跡 他)
事業実施回数	新規 ・ 継続 4 回目 / 【 26 年度から】
課題	戦国の雄、岡山開府の祖と言われる宇喜多直家・秀家親子、その直家が戦国大名に名乗りを上げた居城は亀山城、また豊臣秀吉に信頼を得て五大老の一人にまで上りつめた秀家の人生の始まりは亀山城にあります。しかも、この亀山城西の丸は浮田小学校の敷地内にあり、『亀山城の城跡に』と校歌に歌われています。 しかし地域の新しい住民や若い世代にはその歴史的価値は十分知られてはおらず、とりわけ歴史的資源としての愛着も薄れています。多くの学区民に郷土の偉大な先人と亀山城という郷土の歴史遺産を正しく理解し関心を持ってもらい、多くの方々に広めていく必要があります。
事業の目的	宇喜多直家飛躍の地・秀家生誕の地である亀山城跡を、この地域の歴史遺産として継続的に保存し後世に引き継ぎ、地域おこしの一役を担うことを目的とします。 また、岡山市指定史跡に指定された、この貴重な郷土遺産を地域住民はじめ、区内外の多くの方々に知っていただきたい。 この事業も4年目に入り、岡山市指定史跡の歴史遺産を今後、持続可能な維持・管理に展開していく。また、「亀山城跡しおり」を活用してPRし、多くの方々に訪問していただき、歴史を感じることでできる場所としていきたい。 また子どもたちの木工教室や野外での歴史教室などを行い、この場所を地域の子どもたちが愛着をもてるような場所になることを目指します。

事業の内容	1. 亀山城跡と周辺の調査・研究（亀山城跡保存会会員の現場研究） 2. 講演会の開催 「秀吉の備中高松城の水攻めと亀山城」（仮題）をテーマとして、高松城水攻め堤防発掘などに尽力された[]を予定。 昨年同様、さらなる地域への広報活動。 3. 城跡清掃管理 地元町内以外に各町内会及び学生ボランティア活動等広く清掃活動と呼び掛ける。 清掃活動の後、歴史講話の時間も設定する。 4. 城跡に親しむ子どもの活動 ・ 野外での木工工作教室や、林を利用した椎茸栽培などの試みを始める。 ・ 浮田小学校の日本史（戦国時代）の授業を城跡で行う、などを予定。 5. 亀山城跡保存会会員の募集 正会員・賛助会員の現在の会員数約390名を20名程度増員。 6. 亀山城跡のしおりの改定増刷と有効活用 部数が少なくなってきたので、今年度は改定増刷をする。 7. 公民館と連携を取り広く事業を推進する 地元公民館だけでなく、他の公民館にも広報活動等を拡張する。
期待される成果・目標	亀山城は関ヶ原合戦に勝利した徳川家康により宇喜多秀家に代って岡山城に入城した小早川秀秋によって天守を岡山城の大納櫓に移築した他は全てを取り壊し廃城となり、当時の城の姿形が見えないことから史跡調査の専門家を招致して会員自ら城跡の調査、勉強会を行います。町民に広報として郷土の歴史遺産にいつそうの親しみを持ってもらえんと思います。今年度から子どもが城跡に親しむ活動も始めます。 また、亀山城跡しおりの発行により亀山城跡を訪問する人が増えています。上項事業の内容によって地域活動の活性化がいつそう図れると考えます。
企画などの工夫	・ 亀山城跡の調査・研究 次回講演会講師による現地での勉強会も含める。 ・ 講演会講師の選定と演題 []「秀吉の備中高松城の水攻めと亀山城」（仮題） ・ 城跡の清掃管理等の人員配置 亀山城跡を知ってもらうために各団体にも呼び掛け多くの人の参加を推進。 ・ 城跡に親しんでもらうための子どもの遊び場や学習の場としての活用 木工工作や椎茸栽培などの試みのための樹木伐採。 浮田小学校の発案で、日本史（戦国時代）の授業を城跡での実施を計画する。 ・ 亀山城跡保存会浮田子どもクラブ（浮田小6年生が対象）への会員証授与式の実施

協働する団体等	浮田学区連合町内会 浮田小学校（PTA、子ども会などを含む） 浮田幼稚園（保護者の方々も含む） 上道中学校 上道公民館
事業の情報公開	・岡山市電子町内会浮田学区連合町内会ホームページの亀山城跡保存会便り等。 ・小学校、中学校への催し物等の情報提供。 ・公民館を通じての情報提供。 ・亀山城跡しおりをもとに保存会会員募集活動を通じて情報提供。
学区地区への広がり	亀山城跡保存会が設立されたのは、最初から浮田学区の活動として構想されたので、その形を継承している。
前年度からの見直し拡充点	昨年度は、審査会の助言アドバイスにより、従来の学区内はもちろん、講演会を広く知らしめるために、上道公民館や瀬戸公民館、岡山のいくつかの歴史研究グループ、その他、店舗などに講演会チラシを置いてもらいたくさんの人にいきわたるようにした。また、新聞の予告記事としてもとりあげてもらい、結果 280 名もの参加者があった。この取り組みは今年も継続していきたい。 大人だけでなく子どもが亀山城跡に親しむ活動を、今まで以上に意識的に取り組んでいきたい。城跡での木工工作や椎茸栽培などの試みを始めていきたい。
次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ・亀山城と関連する周辺の調査と研究 ・歴史講演会の開催 ・城跡の清掃及び管理 ・亀山城跡保存会会員の募集 ・亀山城跡の樹木成長にともない、地域の子どもの活動に有効活用するための伐採 ②資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 ○資金確保の具体的な方策：

その他PRしたい点

亀山城は宇喜多直家が14年間居城し、その間推定15万石の備前の国を統一し戦国大名に名乗りを上げた、直家飛躍の城であるとともに、豊臣秀吉政権の下で徳川家康、前田利家らと共に、五大老の一員となった秀家生誕の城です。

また城郭が大規模で曲輪が良好に残っていること、旧備前国で戦国期の代表的な城であることなどから重要な歴史遺産であると認められ、平成24年岡山市の指定史跡に指定されたこと。

事業スケジュール

月日	活動内容
4月	・ 亀山城跡保存会運営委員会 ・ 平成29年度亀山城跡保存会理事会
5月	
6月	・ 亀山城跡保存会浮田こどもクラブ会員証授与式
7月	
8月	・ 岡山の開祖宇喜多氏飛躍の地第8回うきだ振興まつり (写真展、亀山城歴史クイズ、亀山城ゲームなど)
9月	・ 運営委員会(今年度事業の企画等) ・ 亀山城跡の清掃・管理(浮田小学校と合同・含む歴史講話)
10月	・ 亀山城跡の樹木の伐採
11月	・ 亀山城跡の清掃・管理(上道中学校と合同・含む歴史講話) ・ 亀山城跡の樹木の伐採 ・ 子どもの木工工作教室、椎茸栽培の菌植え込み、など
12月	・ 郷土の歴史講演会の準備 ・ 亀山城跡の清掃・管理(上道中学校と合同・含む歴史講話)
1月	・ 郷土の歴史講演会の準備
2月	・ 郷土の歴史講演会の準備 ・ 講演会開催
3月	・ 運営委員会(今年度事業の反省等)

年間を通して都度、亀山城跡保存会会員を募集。
「亀山城跡しおり」等により、広くPR活動を目的とし実施する。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	241,500	168,900	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	138,402	46,200	亀山城跡保存会
浮田学区連合町内会助成金	105,400	105,700	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入		170,00	
計	485,302	337,800	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	142,054	43,000	別紙添付資料を参照
食糧費	12,145	33,800	〃
印刷製本費	58,000	194,000	〃
通信運搬費	11,760	12,000	〃
原材料費	110,983	35,000	〃
委託料	0	0	〃
報償費	100,000	10,000	〃
交通費	50,360	5,000	〃
燃料費	0	5,000	〃
計	485,302	337,800	〃

◆ 概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。